



新年あけましておめでとうござ  
います。

市民の皆様におかれましては、  
清々しい新春をお迎えのことと心  
よりお慶び申し上げます。

昨年は、能登半島地震が発生し、  
被災された多くの方が避難生活を  
余儀なくされ、今なお不安定な生  
活が続いている状況であります。  
私たち砂川市民も支援を行ったと  
ころであります。あらためて災  
害に対する日頃の備えの重要性を  
考えることとなりました。

さて、市内の子どもたちに目を  
向けると、バドミントン中体連全



砂川市長

飯澤 明彦

国大会での優勝をはじめ、中学  
生の水泳、剣道での全国大会出  
場、水の作文コンクールにおける  
経済産業大臣賞受賞など、明るい  
ニュースがもたらされました。将  
来を担う皆さんの今後の活躍を期  
待しています。

私も市長に就任以来、「子育て  
するならすながわ」を市政運営の  
柱として各種施策に取り組んでお  
りますが、現在は、令和8年4月  
開校予定の義務教育学校の建設を  
着実に進めています。

また、消費喚起による市内経済  
の活性化のため、引き続き商品券

発行事業や中小企業に対する支援  
に取り組むとともに、新たな賑わ  
いの拠点となるまちなか交流施設  
は、公募により愛称が「すないる」  
に決定し、建物の外観がいよいよ  
姿を現したところです。4月の  
オープンに向け着々と工事が進ん  
でおり、市民の皆様の協力をいた  
だき魅力ある施設になるよう準備  
を進めています。

一方で、交通や買い物など高齢  
者の生活の支援、地域医療体制の  
確立、学校統合後の施設の活用、  
災害に対する備蓄や設備の整備な  
ど、市民の皆様が安心して生活で

きるよう解決しなければならぬ  
課題はありますが、この砂川を「誰  
もがいつまでも健康で住み続ける  
ことのできるまち」にするため、  
引き続き施策を進めてまいりま  
す。

市民の皆様がご健勝で幸多き年  
となるよう心からお祈り申し上  
げ、年頭のご挨拶いたします。



砂川市議会議長

# 多比良 和伸

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えに  
なられたことと議員一同心からお  
喜び申し上げます。また、日頃よ  
り議会活動に対するご厚情とご指  
導を賜り厚くお礼申し上げます。  
昨年を顧みますと、令和6年の  
幕開け早々、石川県能登半島付近  
を震央とした最大震度7を観測す  
る地震が発生し、甚大な被害に見  
舞われました。

メディアにて連日報道されており  
ました目を覆うばかりの光景と、  
自然の恐ろしさに抗うことのでき  
ない状況に無力さを感じつつ、大  
きな災害が「いつ起きてもおかし  
くない」ことを思い知らされると  
ともに、でき得る限りの防災・減  
災対策を講じることの必要性和重  
要性について考えさせられまし  
た。改めて、一日も早い復興・復  
旧を願わずにはいられません。

歩を進めております。  
そうした中、市議会におきまし  
ては、市民の皆様がまちへの誇り  
と愛着を育み、「ずっと住み続け  
たい」と思えるような持続可能な  
まちづくりに向け、議会の果た  
すべき役割と責務を自覚し、議員  
一人ひとりが市民の皆様の多様な  
ニーズをしっかりとくみ上げて市  
政運営に反映させ、活発で分かり  
やすく、皆様に期待される議会と  
なるよう全力で取り組んでまいり  
ます。

令和7年4月には、まちなかの  
魅力を高め、にぎわいを創出する  
ための新たな拠点となるまちなか  
交流施設「すないる」がオープン  
し、令和8年4月には、子どもた  
ちの健やかな成長と豊かな学びの  
場となる義務教育学校「砂川学園」  
が開校いたします。砂川市は、第  
7期総合計画の目指す都市像「自  
然に笑顔があふれ 明るい未来を  
ひらくまち」の実現に向け着実に

年頭にあたり、今年が明るく希  
望の持てる年となりますととも  
に、皆様のご健勝とご多幸を心か  
らお祈り申し上げ、新年のごあい  
さつといたします。